

横手市増田まんが美術館

横手市増田まんが美術館は、日本の漫画のファンや愛好家のメッカである。増田の職人気質と蔵の歴史を継承し、数十万点にも及ぶ原画のアーカイブおよびギャラリーとして運営されている。この美術館は、マンガ文化の共有と発展をコンセプトに、1995年に日本初のマンガミュージアムとして設立された。

1階のマンガ文化展示室では、日本のマンガ文化の概要やミュージアムの目的、マンガがどのようにして作られるのかなどを紹介している。2階につづく常設展示室では、100名以上の常設展示作家のオリジナル作品が、常時74名分入れ替わりで展示されており、じっくりと鑑賞できる。2階には、秋田出身の作家によるマンガの展示や、マンガの名言を紹介する名台詞ロード、ワークショップルーム、約25,000冊のマンガから選べるマンガライブラリーがある。

また、1階には漫画家とコラボレーションを行う「特別展示室」や、著名な漫画家が残したオリジナル壁画も見られる「マンガカフェ」がある。（カフェの向かい側にある）「マンガの蔵展示室」は、原画を収蔵する最新式の大型収蔵庫である。ここには40万点以上のマンガ原画が保管されており、スタッフの手によって1点1点丁寧にスキャンされ、カタログ化されている。このような作業を通じて、日本のマンガを後世に伝えていきたいと考えている。